





1月21日 三峰山 「米寿祝い山行」 小川 弘二

山名	三峰山 「米寿祝い山行」	山行名	1月個人山行
ルート	京田辺→御杖村P→展望台→避難小屋→三峰山頂→御杖村P→京田辺		
山行日	2020年1月21日(火)	天候	曇り
参加者	リーダー： 小川 サブリーダー： 廣瀬 男性：植西(仙人：今年八八歳) 女性：徳田 参加者計 4名		

ルート概略図	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
	同志社前	発 06:45	避難小屋	着 11:00
		着	(昼食)	発 11:25
	御杖村P	着 09:10	三峰山頂	着 11:52
		発 09:23	上	発 12:00
	展望台	着 10:00	御杖村P	着 14:00
		発		発 14:15
			京田辺	着 16:40

※ 最近、70歳を過ぎると山友会を退会される方が多く又、例会の参加も少ない方が多いので今年88歳の米寿を迎えられる植西さん(京田辺のチベットと言われる打田の仙人)の元気なお姿を紹介し、皆さんにも元気になって貰おうと、個人山行ではあるが敢えて山行報告書を作成した。

今年の元旦に植西さんから冬はヒマヤからどこかへ行きたいなあと言う催促の電話が有り、どうしようかと迷っていたところ17日~18日に掛けて関西南部が雨となり、ヤマレコの最新情報を見ると奈良県南部の山も雪が積もっていることが判り、19日の新年会(山友会)の開催中に電話を入れ、山行が決定した。

同志社前を6:45に出発し、みつえ青少年旅行村に着いたのが9:10。入口には「三峰山樹氷まつり」という横断幕が掲げられ、平日にも関わらず既に25台程先着車がいた。樹氷祭りは1/11~3/1の土・日・祝日)でふるまい酒や餅つきもあるようだ。



我々が準備に手間取っているのを見て、植西さんは先に行ってるぜと声を掛け、歩き出した。相変わらず、せっかちな性分は健在である。今回は登尾ルートを採用することにした。40分程

登ると下の避難小屋と展望台に到着。トイレを済ませ、40分程更に登ると道が凍っており軽アイゼンを付けることにした。しかし事前確認が出来ておらず、紐が短いとかゴムが切れたとかで装着できず、3人が片足のみの着装で登ることとなった。昨年もそうであったが誰か不具合が生じ、アイゼンが付けられないということが起こるのでリーダーは予備があれば余分に持ってきておいた方が良くと思うし、出発前にアイゼンの確認を行う方が良かったかなと反省。

途中で下山してくる人に山頂の状況を聞くと積雪は20cm程だが風がキツク、吹き飛ばされそうになり、早々に下山してきたとのこと。高度が上がるにつれて木々の揺れや風のざわめきが大きくなってきた。

避難小屋に着いたのが11時で少し早いですが昼食を取ることにした。小屋の内部は薄暗いが暖かい。

避難小屋を出て、頂上に向かうが段々と雪が深くなり、誰が作ったか知れないが小さな雪だるまが枝に並んで我々を迎えてくれた。

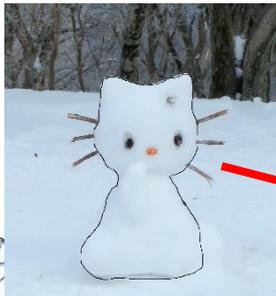
頂上に近づくにつれ、樹氷のトンネルが出



来ていたが台風並みの風に煽られ、木々の樹氷が落ちてきて顔に当たり痛い。たまたま、風よけに木々を盾にするが細い木ばかりで役に立たない。

11:52 に頂上に到着。ネコだるまが我々を出迎えてくれた。

非常にうまく作れており拍手・拍手!!!



山頂からは樹氷の向こうに曾爾高原の俱留尊山や古光山が見える。

その後、八丁平を周り 14:00 に下山した。下りの植西さんの早いこと。まだまだ 3000 m級のアルプスも行けそうである。但し、お酒は必要だが・・・!!!

皆さんも米寿の仙人に負けずに頑張りましょう!!! 頑 張 れ!!!

ヒヤリハット: なし